

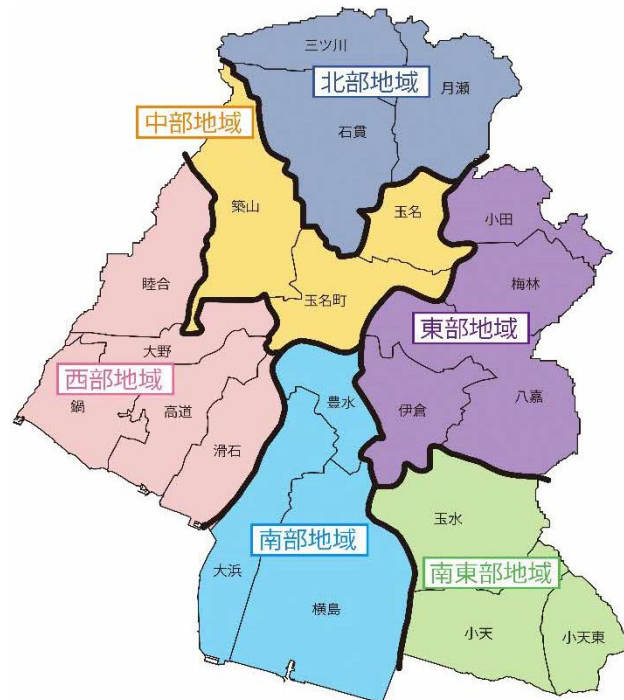
(都市マス) 資料 3

地域別構想

■地域区分

地域別構想は、本市を6つの「地域」に区分し、それぞれの地域のまちづくり方針を定めます。区分にあたっては、まちづくりのまとまりや地形地物、土地利用、日常生活の交流条件などを考慮し、下記に示す区域に区分します。

図一 地域区分図



地域名	対象地区	特徴（概略）
北部	月瀬 石貫 三ツ川	市北部に位置し、小岱山、そのふもとの農地など、 自然的土地利用が大半を占めるエリア である。この地域には、石貫ナギノ横穴群などの史跡が点在している。
中部	玉名町 築山 玉名	市中央部に位置し、 既成市街地及び市街地化が進んでいるエリア である。市役所をはじめとする官公庁・新玉名駅・玉名駅など、多くの公益施設が集積する。地域の主要幹線道路として、国道208号、県道寺田岱明線が横断している。
西部	滑石 睦合 大野 高道 鍋	市西部に位置し、 岱明地区を中心とした菊池川右岸のエリア 。地域の大半は田畑などの田園地帯が広がる自然に恵まれた地域となっている。中央部を東西に走る JR 鹿児島本線には、大野下駅が立地している。南側の有明海沿岸部には、交流拠点の鍋松原海岸がある。
東部	伊倉 八嘉 小田 梅林	市東部に位置し、 地域中央部を走る国道208号、県道寺田岱明線、県道熊本玉名線を軸とした菊池川左岸のエリア 。田園地帯と森林地帯に大別され、桃田運動公園、伊倉商店街、肥後伊倉駅を有する。
南部	豊水 大浜 横島	市南部に位置し、 横島地区を中心とした菊池川左岸のエリア 。干拓による田園地帯における施設園芸などが盛んである。地域中央を国道501号が走り、有明海にも面している。
南東部	玉水 小天 小天東	市南東部に位置し、 天水地区で構成されるエリア 。金峰山系の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなり、熊本市と隣接する。

■地域別まちづくりのテーマ・方針

本市の都市づくりの目標である、『人と自然が輝き やさしさと笑顔にあふれるまち 玉名』を達成するため、市域の6つの地域がそれぞれの地域特性を活かしつつ、役割を分担し、全体としての調和のとれた発展を遂げるよう、各地域におけるまちづくりのテーマを設定します。

地域	各地域のまちづくりのテーマ・方針
北部	<u>里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ</u> ◆ 豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり ◆ つながりのある地域づくり
中部	<u>自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ</u> ◆ 「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい地域づくり ◆ 観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり
西部	<u>地域資源を誇り、つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ</u> ◆ 地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり ◆ 交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり
東部	<u>自然と歴史を感じ 安心して生活ができる東部地域へ</u> ◆ 自然的資源や歴史的資源を活かしたまちづくり ◆ つながりのある安心して生活ができる地域づくり
南部	<u>干拓地を活かした 歴史・文化を感じる南部地域へ</u> ◆ 自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり ◆ 歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり
南東部	<u>丘陵地の自然と文化が息づく 交流といやしのある南東部地域へ</u> ◆ 豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり ◆ 交流といやしのある暮らしやすい地域づくり

地域別まちづくり方針① 北部地域(※対象地区:月瀬、石貫、三ツ川)

地域の現況

〔地勢〕

- ・南関町、和水町と隣接する市北部に位置し、小岱山や菊池川、繁根木川などの自然的資源に恵まれたエリア
- ・地域の大半を山林や田畑が占めており、谷あいを走る地域の主要な動線である県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道に主に集落が形成されている

〔人口〕

- ・減少傾向
- ・令和2年度の高齢化率は市全体よりもやや高い(40.6%)。
- ・平成27年度から令和2年度にかけて急速に高齢化が進展

〔産業構造〕

- ・市全体と比べて、第1次産業の割合が若干低く、第2次産業の割合が若干高くなっている

地域の主要課題

〔豊かな自然環境の保全・活用〕

- ・自然的要素を後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要がある

〔豊かな自然環境に囲まれた居住地としての快適性の維持〕

- ・県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落においては、豊かな自然環境に囲まれた、落ち着いたきのある快適な住環境を維持する必要がある

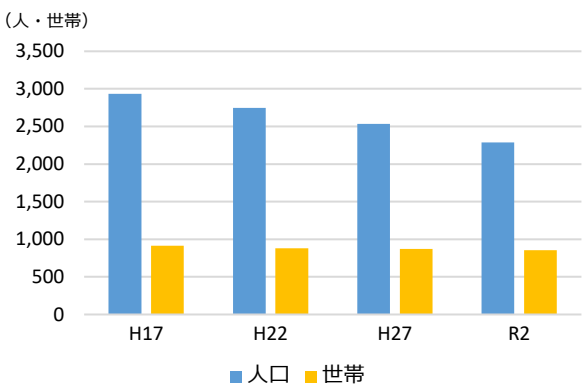
〔安全で安心できる暮らしの実現〕

- ・浸水被害、土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要がある

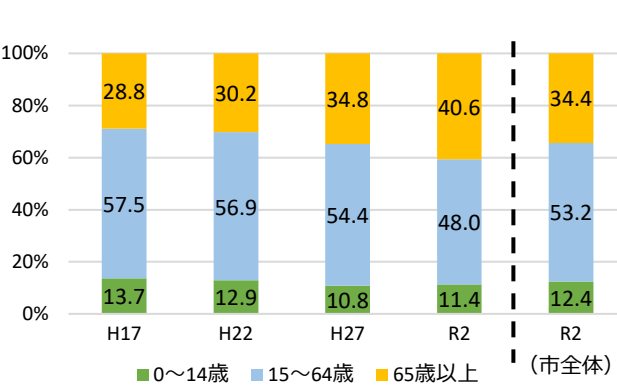
〔地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上〕

- ・地域内に点在する数多くの歴史的資源を後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要がある

人口・世帯の推移(北部)



年齢3区分人口構成比の推移(北部)



出典：国勢調査

まちづくりの方針

「里山のやすらぎと安心・つながりのある北部地域へ」

〔豊かな自然環境に囲まれたやすらぎと安心のあるまちづくり〕

豊かな自然環境の継承	○小岱山に連なる丘陵地:豊かな自然環境とのふれあいの場、玉名らしい景観形成への活用、休息やレクリエーションの場としての活用。 ○里山環境の保全。 ○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理・利活用に向けた支援。 ○不法投棄の防止対策。
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	○菊池川や繁根木川におけるウォーキングコースなどの整備。 ○小岱山登山ルートへの再整備並びに誘導サイン・案内サインの設置等。
豊かな自然環境との共生による住環境づくり	○空家・空地の解消及び活用。 ○県道玉名八女線、県道玉名立花線沿道の集落の快適な住環境の整備・改善。
適切な土地利用の誘導による居住環境と営農環境の調和	○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地の誘導。
自然災害から地域の住民の生命、財産を守る防災まちづくりの推進	○繁根木川などにおける河川改修の推進。 ○土砂災害警戒区域における段階的な改善対策の推進。

〔つながりのある地域づくり〕

市民と行政による協働のまちづくりの推進	○地域農産物などを活かした地域住民と来訪者との交流の場・機会づくりの推進。 ○地域住民や関係団体などが一体となって活動する組織への支援。
地域コミュニティの維持・向上	○公民館・集会所などの既存施設を活用した活動拠点の形成。 ○小学校に代わるコミュニティ活動の拠点形成。
産業集積の土地利用の推進	○三ツ川地区の一部において、今後、産業集積の土地利用が進んでいく可能性があり、企業立地推進計画の中で位置づける等検討を実施。
情報通信環境の改善	○三ツ川地区・石貫地区:引き続き、情報通信環境の改善を実施。
歴史的資源の継承・活用	○横穴墓や、寺社や山城などの歴史的資源の継承・活用。
九州看護福祉大学と地域の連携による地域コミュニティ活動の活性化	○公設民営の県北唯一の大学であるとともに、生涯学習や健康推進など様々な情報の発信や地域との交流の拠点であり、さらなる交流機能の維持・向上を図る。



地域別まちづくり方針② 中部地域(※対象地区:玉名町、築山、玉名)

地域の現況

- 〔地勢〕
- ・市中央部に位置し、地域北側を除いた地区全般において、市街化が進んでいるエリアとなっている
 - ・地域の主要な幹線道路として、国道 208 号、県道寺田岱明線が横断している
- 〔人口〕
- ・ほぼ横ばい
 - ・令和 2 年度の高齢化率は市全体よりもやや低くなっており、非常に緩やかに高齢化が進行している
- 〔産業構造〕
- ・市全体と比べて、第 1 次産業の割合が非常に低く、第 3 次産業の割合が非常に高く、第 3 次産業の割合は 6 地域の中で最も高い

地域の主要課題

- 〔交流拠点都市の中心部としての拠点性向上〕
- ・多くの来訪者・来街者を受け止める受け皿づくりや、本市全体での交流促進を図るためのソフト・ハード対応を図る必要がある
- 〔利便性の高い快適な市街地環境の形成〕
- ・市街地は、各種機能の維持・集積を図る中心拠点として、さらには、本市における計画的な住宅市街地形成を重点的に進める地区として、さらなる市街地の整備・改善に努める必要がある
- 〔本市の中枢を担う市街地としての防災性向上〕
- ・防災機能の向上に努めるとともに、中心拠点～市内各所間のアクセス確保に努める必要がある
 - ・浸水被害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要がある
- 〔地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上〕
- ・地域住民と関係団体による連携や、市民と行政との連携により、地域コミュニティを維持する必要がある

まちづくりの方針

「自然と調和した便利で活気あふれる中部地域へ」

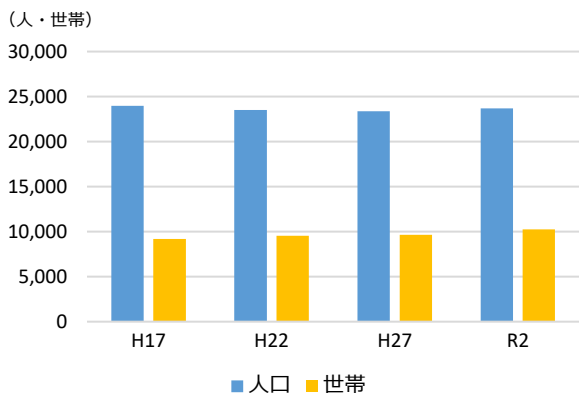
〔「県北地域の発展を主導する交流拠点都市」の中心部としてふさわしい地域づくり〕

新玉名駅周辺:有効な土地利用による拠点性向上	○新玉名駅周辺等整備基本計画に基づき、周辺の土地利用との調和、適正な機能の誘導に努める。
玉名駅周辺:交通結節点としての機能向上、アクセス性の向上、拠点性向上及びにぎわいのある交流エリアの形成	○バス・タクシー・近隣駅との連携を強化する取組を推進するなど、交通結節点としての機能向上。 ○大野下駅、肥後伊倉駅と連携した公共交通システムの検討。 ○周辺については、拠点間を連絡する公共交通への乗換え利便性の強化に向けたユニバーサルデザインに配慮した機能の向上。 ○玉名駅周辺から玉名温泉街、新玉名駅までの歩行者・自転車ネットワークの確立。 ○にぎわいのある交流エリアの形成。
玉名市役所本庁舎周辺:拠点性に応じた人口集積の推進	○文化活動の拠点としての機能維持と、庁舎立地に伴う行政サービス機能の維持・強化。 ○拠点性に応じた人口集積の推進。
旧玉名市役所周辺:にぎわいのある市街地形成	○便利でにぎわいのある市街地の形成に向けた、計画的な都市空間の形成。 ○拠点エリアとしての求心力向上を図るため、旧庁舎跡地の有効活用や積極的な都市機能の誘導。
公立玉名中央病院跡地の有効活用に向けた検討	○地域にとって有益なスペースとなるように、独立行政法人くまもと県北病院と連携し、今後、具体的な利活用等の方向性を検討。

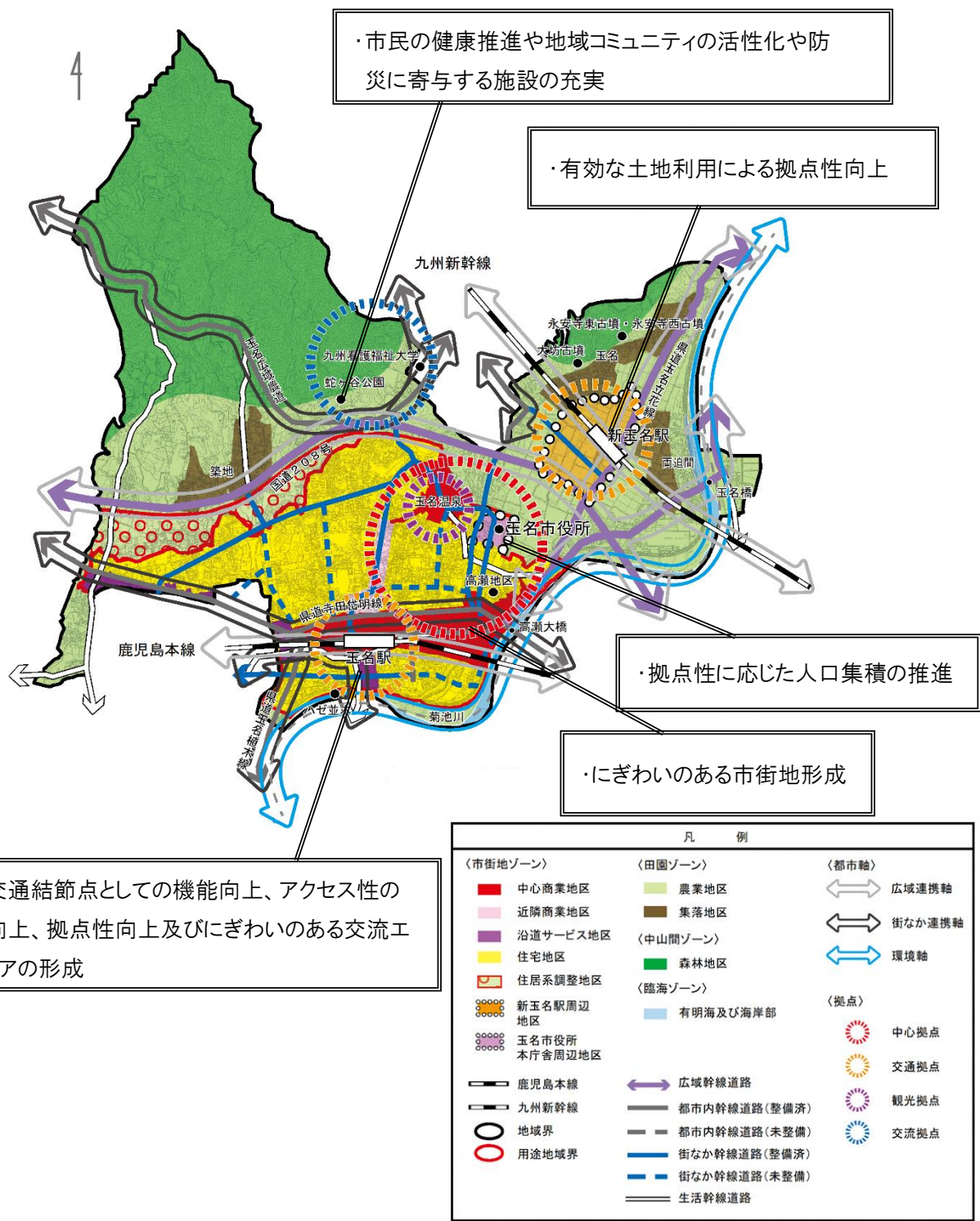
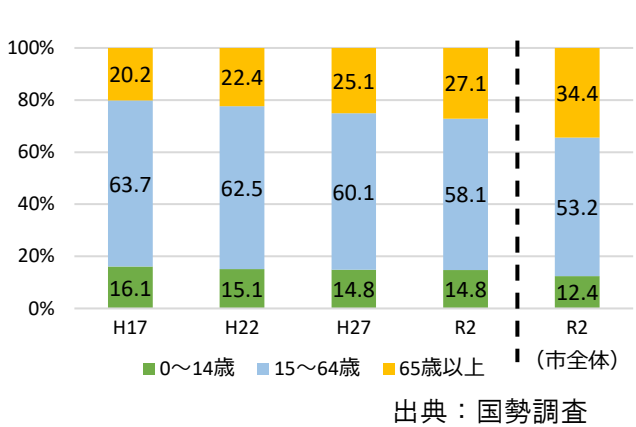
〔観光振興や交流の推進を通じた活気あふれる地域づくり〕

玉名温泉街、高瀬地区、山田の藤等の観光施設、菊池川等の自然景観の有効活用・交流の推進	○玉名温泉街:新玉名駅へのアクセス向上や来訪者が安全・安心して訪れることのできるまちづくり。道路幅の確保や歩道のバリアフリー化、電線類の地中化などによって、高齢者・障がい者などすべての歩行者が安全に移動できる歩行空間の確保。 ○高瀬地区の商店街:景観条例(景観計画)及び地区計画により、街並み景観の形成を推進。地域の伝統、まつり、コミュニティなどの特性を取り入れた空間の形成や集客事業の展開及び情報発信に対する支援。 ○高瀬地区の菊池川一帯:河川管理者と地域住民との協働により、親水空間やレクリエーション空間の創出。 ○菊池川や繁根木川における河川空間とまち空間の融合が図られた良好な空間形成及びイベント会場としての活用。 ○境川の県管理区間一河川改修の早期完成に向けた要望強化、市管理区間一下流とのバランスを考慮した計画的な整備の推進。
市民の健康推進や地域コミュニティの活性化や防災に寄与する施設の充実	○蛇ヶ谷公園:人や自然との交流の場、市民の憩いの場、スポーツやレクリエーション及びコミュニティ活動の場としての機能の集積・充実。災害時における指定緊急避難場所としての計画的な整備の推進。

人口・世帯の推移(中部)



年齢 3 区分人口構成比の推移(中部)



地域別まちづくり方針③ 西部地域(※対象地区:滑石、睦合、大野、高道、鍋)

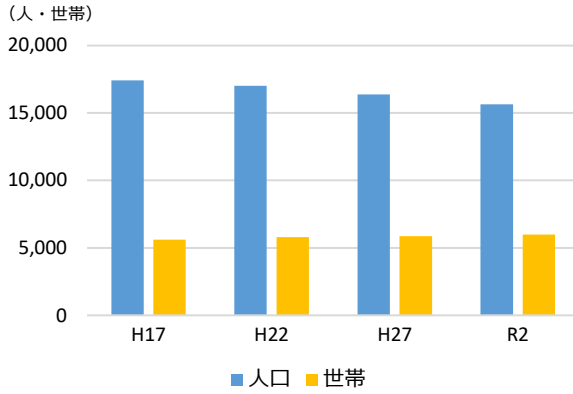
地域の現況

- 【地勢】
- ・南西部の荒尾市、長洲町との隣接部、有明海沿岸部に位置し、岱明地区を中心とした菊池川右岸のエリア
 - ・岱明支所を中心に市街地が形成されているが、地域の大半は田畑などの田園地帯が広がる自然に恵まれた地域となっている
 - ・中央部を東西方向に走る JR 鹿児島本線には、大野下駅が立地しており、人が集まる地域コミュニティの場としても活用されている
 - ・南側の有明海沿岸部には、交流拠点の鍋松原海岸がある
- 【人口】
- ・緩やかに減少傾向
 - ・令和2年度の高齢化率は市全体よりもやや高くなっており、緩やかに高齢化が進行している
- 【産業構造】
- ・市全体と比べて、第1次産業の割合が若干低く、第2次産業の割合が若干高くなっている

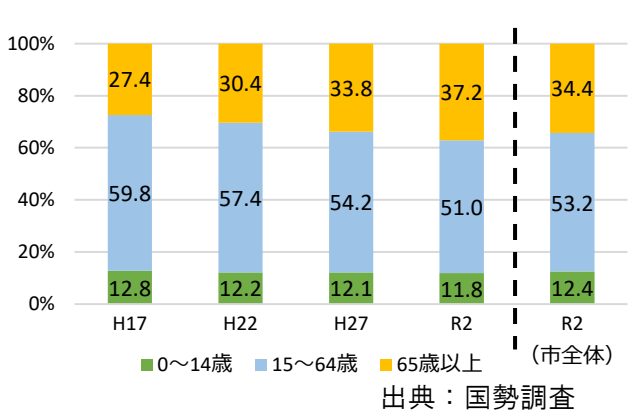
地域の主要課題

- 【地域資源の活用による新たなにぎわいの創出】
- ・数々の歴史的資源や豊かな自然環境などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源としてさらなる活用を図る必要がある
- 【市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持】
- ・岱明支所を中心とした市街地においては、各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着きのある快適な住環境を維持する必要がある
- 【安全で安心できる暮らしの実現】
- ・浸水被害や高潮被害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要がある
- 【伝統文化の継承による地域コミュニティの維持・向上】
- ・神事や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要がある

人口・世帯の推移（西部）



年齢3区分人口構成比の推移（西部）



まちづくりの方針

「地域資源を誇り、つながりを基軸とした暮らしやすい西部地域へ」

【地域資源を見つめ直し、活用したまちづくり】

豊かな自然環境の継承	○小岱山に連なる丘陵地：豊かな自然環境とのふれあいの場、玉名らしい景観形成への活用、休息やレクリエーションの場としての活用。 ○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理・利活用に向けた支援。 ○菊池川、有明海沿岸部、田畑等の自然環境の保全・活用。 ○不法投棄の防止対策。
市民の健康推進や地域コミュニティの活性化に寄与する施設の充実	○岱明中央公園グラウンドの機能の充実。 ○岱明防災コミュニティセンターの機能充実。
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	○「開田の木タル」、「日獄」、「菊池川のハゼ並木」や「大野下の大ソテツ」、「晒船着場跡」、「鍋松原海岸」等、幅広く特色のある地域資源の活用の推進。 ○地域主体による地域資源マップの作成や各種観光施設の改善、イベントバスの運行、誘導サイン・案内サインの設置などによる交流促進活動の支援。 ○有明海の水質保全と海岸線の保全・活用に向けた環境学習会の実施。 ○アサリや海苔などの地域を代表する水産物などを活かした観光産業の振興。

【交流やつながりを通じた暮らしやすい地域づくり】

大野下駅での地域コミュニティ活動の推進	○地域コミュニティ活動の場としても活用しており、今後も引き続き、そのような活動を推進。
鍋松原海岸におけるコミュニティの活動の推進、交流機能の維持・向上	○レクリエーションによる交流機能の維持・向上。 ○豊かな自然を活かした、既存施設の有効活用や周辺の他の観光資源との一体的な環境整備。
地域拠点としての岱明支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上	○地域住民の生活の中心であり、教育・文化活動やコミュニティ活動の拠点。 ○周辺の公共・公益施設の集約化や、生活サービス・文化交流機能の維持・向上。
道路・交通の利便性の向上	○有明海沿岸道路(熊本県側)の熊本市～大牟田市間については、継続して候補路線から計画路線への指定を要望。
安心・快活に暮らし続けることができるまちづくり	○地域密着型の公共交通(コミュニティバス・乗合タクシーなど)の導入検討・展開。 ○滑石地区などの住宅密集地における生活道路の整備を視野に入れた交通安全対策の推進。 ○岱明中央公園グラウンドにおける指定緊急避難場所としての機能充実。 ○岱明防災コミュニティセンターの機能充実。
市民と行政による協働のまちづくりの推進	○地域主体による伝統行事や自主活動(滑石地区ふれあいデー、地区対抗スポーツイベントなど)の開催に対する支援。

・地域コミュニティ活動の推進

・豊かな自然環境の継承

・地域拠点としての岱明支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上

・コミュニティの活動の推進、交流機能の維持・向上



凡 例

〈市街地ゾーン〉	〈田園ゾーン〉	〈都市軸〉
近隣商業地区	農業地区	広域連携軸
商業系調整地区	集落地区	街なか連携軸
住宅地区	〈中山間ゾーン〉	環境軸
住居系調整地区	森林地区	
〈臨海ゾーン〉		〈拠点〉
有明海及び海岸部		地域拠点
		交流拠点
鹿児島本線	広域幹線道路	
地域界	都市内幹線道路(整備済)	
用途地域界	都市内幹線道路(未整備)	
	街なか幹線道路(整備済)	
	街なか幹線道路(未整備)	
	生活幹線道路	

地域別まちづくり方針⑤ 南部地域(※対象地区:豊水、大浜、横島)

地域の現況

【地勢】

- ・市南部の有明海沿岸部に位置し、横島地区を中心とした菊池川左岸のエリア
- ・横島支所を中心に、地域の主要な動線である国道501号沿道に市街地が形成されているが、地域の大半は干拓による田園地帯が広がり、自然に恵まれた地域
- ・有明中学校区により構成された地域であり、地域内の人のつながりが深い地域

【人口】

- ・緩やかに減少傾向
- ・令和2年度の高齢化率は市全体よりも若干高くなっており、緩やかに高齢化が進行している

【産業構造】

- ・市全体と比べて、第1次産業の割合が非常に高く、第2次・第3次産業の割合が低い

地域の主要課題

【豊かな自然環境や数々の歴史的資源の保全・活用】

- ・干拓による田園地帯や有明海、菊池川などの豊かな自然環境や、イチゴやトマト、アサリや海苔などの農水産物、数々の歴史的資源などを地域の財産として後世に継承するとともに、新たなにぎわいを創出する地域資源として活用を図る必要がある

【市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持】

- ・横島支所を中心とした市街地においては、各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着きのある快適な住環境を維持する必要がある

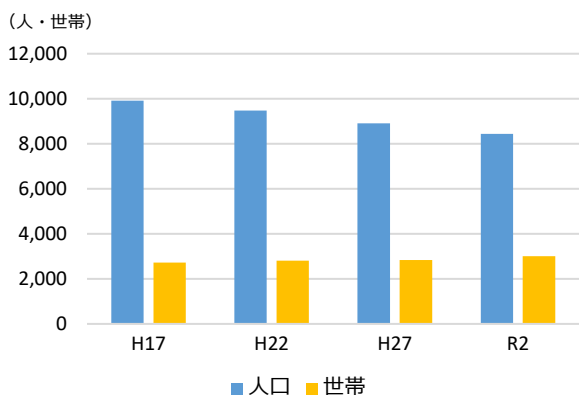
【安全で安心できる暮らしの実現】

- ・ゲリラ豪雨や台風を起因とした河川氾濫や有明海沿岸部の高潮被害、横島山の土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要がある

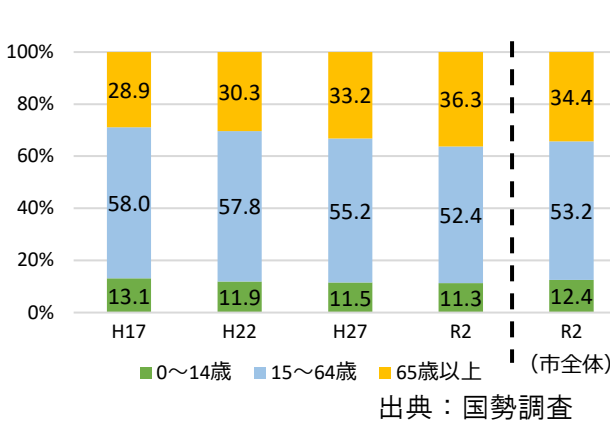
【地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上】

- ・神楽や祭りなどの地域に根付いた伝統文化を後世に継承するとともに、日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要がある

人口・世帯の推移（南部）



年齢3区分人口構成比の推移（南部）



まちづくりの方針

「干拓地を活かした 歴史・文化を感じる南部地域へ」

〔自然環境の保全と地域資源としての活用による自然と共生したまちづくり〕

豊かな自然環境の継承	○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理・利活用に向けた支援。 ○有明海沿岸部、菊池川、干拓による田園地帯等の自然環境の保全・活用。 ○豊かな自然景観の保護・保全に向けた景観勉強会の開催。 ○不法投棄の防止対策。
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	○地域主体による地域資源マップの作成や誘導サイン・案内サインの設置、集客イベントの企画・運営(菊池川でのリバーウォーキング、旧玉名干拓施設を活用したPRイベントなど)の支援。 ○地域住民や民間企業が参画し、官民一体が協働で進める景観づくりの推進。 ○イチゴ・トマト・ミニトマト及びアサリや海苔などの地域を代表する農水産物などを活かした観光産業の振興。

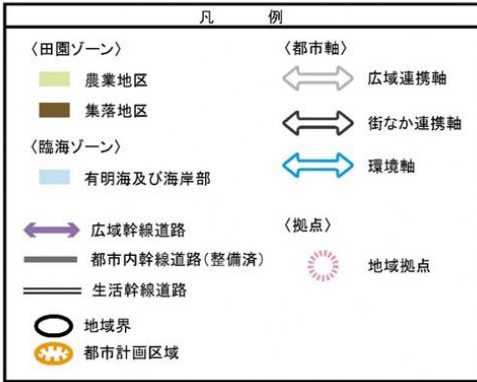
〔歴史・文化を感じる暮らしやすい地域づくり〕

歴史的資源の継承・活用	○廻船問屋街、大浜飛行場及び関連施設跡、石塘・石塘樋門、旧玉名干拓施設等の歴史的資源の継承・活用。
地域拠点としての横島支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上	○地域住民の生活の中心であり、教育・文化活動やコミュニティ活動の拠点。 ○周辺の公共・公益施設の集約化や、生活サービス・文化交流機能の維持・向上。
快適な住環境づくり、都市施設等の利便性の向上	○有明海沿岸道路(熊本県側)の熊本市～大牟田市間については、継続して候補路線から計画路線への指定を要望。 ○本市中心拠点(玉名駅方面)への交通アクセス機能の向上。 ○菊池川堤防工事における空地の公園化の推進(大浜町)。 ○横島グラウンド及びその周辺における機能の集積・充実。
安心・快活に暮らし続けることができるまちづくり	○横島グラウンドにおける指定緊急避難場所としての機能の充実。
市民と行政による協働のまちづくり	○地域住民や関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会(仮称)」の設置検討。
地域コミュニティ活動の継続支援	○地域主体による伝統行事(祭り、神楽など)並びに自主活動(地域の民話発掘・紹介、花いっぱい運動など)の保存に対する支援。

・地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進

・地域拠点としての横島支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上

・豊かな自然環境の継承



地域別まちづくり方針⑥ 南東部地域(※対象地区:玉水、小天、小天東)

地域の現況

【地勢】

- ・熊本市、玉東町と隣接する市南東部に位置し、天水地区により構成される、金峰山系の熊ノ岳・三ノ岳の緩やかな傾斜面を活用した果樹栽培が盛んな中山間地と田園地帯からなる自然的資源に恵まれたエリア
- ・天水支所を中心に、県道熊本玉名線沿道に市街地が形成されており、その他主要な動線として、国道 501 号が南北方向に縦断する形で配置されている
- ・天水中学校区により構成された地域であり、地域内の人のつながりが深い地域

【人口】

- ・減少傾向
- ・令和 2 年度の高齢化率は市全体よりもやや高くなっており、緩やかに高齢化が進行している

【産業構造】

- ・市全体と比べて、第 1 次産業の割合が非常に高く、第 2 次・第 3 次産業の割合が低くなっており、第 1 次産業の割合は 6 地域の中で最も高い

地域の主要課題

【豊かな観光資源の保全・活用による交流促進】

- ・小天温泉をはじめ、地域内に点在する数々の歴史的資源、観光資源などのさらなる活用を図るため、多くの来訪者・来街者を受け止める受け皿づくりや、交流促進を図るためのソフト・ハード対応を図る必要がある

【市街地としての利便性と居住地としての快適性の維持】

- ・天水支所を中心とした市街地においては、各種市民サービス機能の維持・改善や本市中心部への交通アクセス性の向上を図るとともに、既存集落においては、落ち着いたある快適な住環境を維持する必要がある
- ・一部過疎地域に指定されているものの、農免道路により熊本市内へのアクセスが良好であり居住地としても十分なポテンシャルがあるため、そのような点を捉えたうえで、都市計画を検討していく必要がある

【安全で安心できる暮らしの実現】

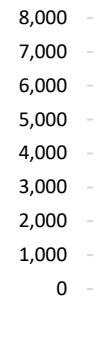
- ・住宅地や水田地帯の浸水被害や金峰山系の急傾斜地における土砂災害などといった自然災害や、火災、交通事故、犯罪などによる被害を抑制・軽減するため、地域住民と行政が一体となり、安全性の確保に努める必要がある

【地域資源の活用による地域コミュニティの維持・向上】

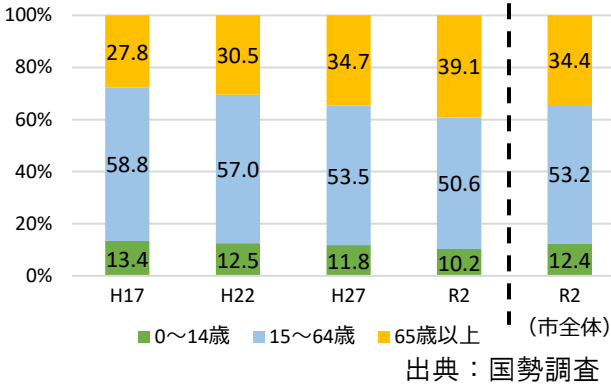
- ・日常の豊かな暮らしを実現するため、地域住民と行政が一体となり、地域コミュニティを維持する必要がある

人口・世帯の推移（南東部）

(人・世帯)



年齢 3 区分人口構成比の推移（南東部）



まちづくりの方針

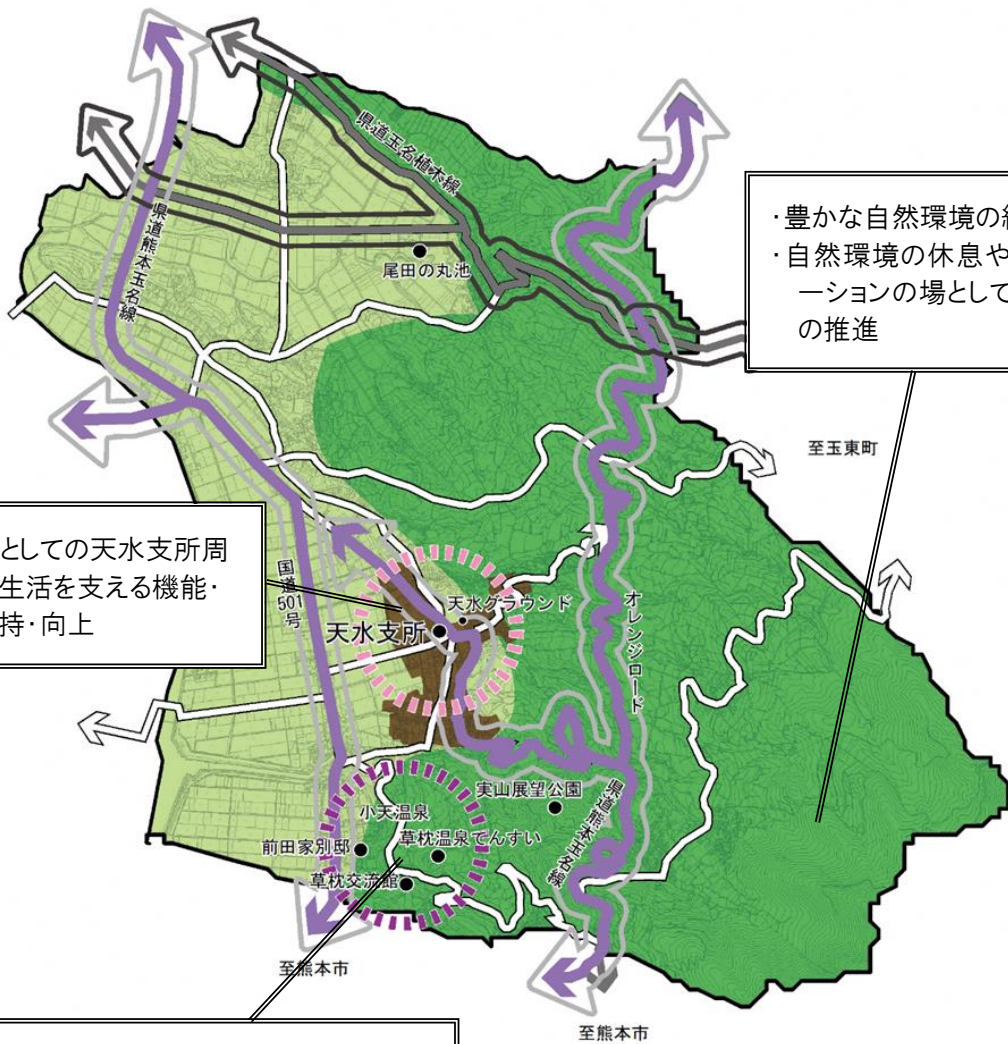
「丘陵地の自然と文化が息づく 交流といやしの南東部地域へ」

【豊かな自然や歴史・文化を活かしたまちづくり】

豊かな自然環境の継承	○天水地区の丘陵地は、全国でもトップクラスの生産量を誇るみかんの産地であり、生産活動の維持や丘陵地の環境保全に努める。 ○営農環境の向上と農地の保全・活用、耕作放棄地の適正管理並びに利活用に向けた支援。 ○EM(有用微生物群)などの使用による環境浄化活動の支援。 ○不法投棄の防止対策。
観光拠点における来訪者・観光客との交流の場づくり	○前田家別邸、草枕温泉でんすい、草枕交流館、実山展望公園、尾田の丸池、笠智衆の生家など様々な地域資源や特色ある景観資源の活用。 ○地域の自然や豊富な農産物などを活用した体験・交流イベントの開催。 ○小天温泉周辺における魅力的な観光空間の形成。
地域住民主体による地域資源を活用した来訪者との交流促進	○中核農家の育成支援。 ○地元の農産物などを取り扱う事業者に対する支援並びに集客向上策の実施支援。 ○地域主体による地域資源マップの作成や誘導サイン・案内サインの設置、集客イベント(小説「草枕」、夏目漱石を活用したイベントなど)の企画・運営に対する支援。 ○「尾田の丸池」の名水や地域内で採れる薬草などを活用した地域おこし活動に対する支援。 ○官民が協働で進める良好な景観形成に向けた取り組みに対する支援。

【交流といやしのある暮らしやすい地域づくり】

自然環境の休息やレクリエーションの場としての活用	○金峰山系山間部の休息やレクリエーションの場としての活用の推進。
既存観光施設の有効活用や活性化	○小天温泉における既存観光施設の有効活用や活性化。
地域拠点としての天水支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上	○地域住民の生活の中心であり、教育・文化活動やコミュニティ活動の拠点。 ○周辺の公共・公益施設の集約化や、生活サービス・文化交流機能の維持・向上。 ○有明海沿岸道路(熊本県側)の熊本市～大牟田市間については、継続して候補路線から計画路線への指定を要望。 ○本市中心拠点(玉名駅方面)への交通アクセス機能の向上。 ○天水グラウンドの機能の充実。 ○平坦部から唐人川に挟まれた地区における排水対策の検討。 ○イノシシによる人的被害防止対策の推進。 ○天水グラウンドにおける指定緊急避難場所としての機能の充実。
快適な住環境づくり、都市施設等の利便性の向上	○地域住民や関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会(仮称)」の設置検討。
安心・快活に暮らし続けることができるまちづくり	○小天天子宮の「火の神祭り」をはじめ、各地区に伝わる祭りや神楽などの伝統文化の継承。 ○「草枕の里」のPR活動や団体の育成の支援。 ○計画的な土地利用による集落の維持向上。 ○既存農地における無秩序な宅地化の防止並びに既存集落への住宅立地を誘導。
市民と行政による協働のまちづくり	
地域コミュニティ活動の継続支援	
適切な土地利用の誘導による住環境と営農環境の調和	



・豊かな自然環境の継承
・自然環境の休息やレクリエーションの場としての活用の推進

・地域拠点としての天水支所周辺の市民生活を支える機能・施設の維持・向上

・観光拠点における来訪者・観光客との交流の場づくり
・既存観光施設の有効活用や活性化

凡	例
〈田園ゾーン〉	〈都市軸〉
農業地区	広域連携軸
集落地区	街なか連携軸
広域幹線道路	〈拠点〉
都市内幹線道路(整備済)	地域拠点
生活幹線道路	観光拠点
地域界	

